

単位数	2	学科（型） 学年	工業科 2年	教科書 副教材等	新文学国語（三省堂） 実践文字力トリプルチェック（尚文出版） 現代新国語辞典（三省堂）
学習目標		国語を的確に理解し、適切に表現する力を育成し、社会生活に必要な国語の知識を身に付け、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めることができるようにする。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	文学の言葉を感じ取る 最初の質問 虹の雌雄 解釈の多様性を楽しむ 予感 作家のストラテジーを読み解く 少年という名前のメカ			・言葉について、静かに考える時間を持ち、自分なりの考えや人生について思いを深める。 ・内容や構成、展開、描写を的確に捉える。 ・人間、社会、自然に対するものの見方、感じ方を豊かにする読書の意義について理解を深める。 ・文体の特徴や修辞などの表現技法について理解する。 ・作品を設定や表現について評価することで内容を解釈する。	
2	心情の表現に読みひたる 山月記 デューク 近代の文章に価値を見いだす 永訣の朝 正岡子規—もう一つの顔 古典和歌・近世俳句 表現の扉をひらく 冒頭書き出し例集			・漢文調の文章を味わい、人物の言動から人物像を明らかにする。 ・主人公の生き方や人間の運命について考えを深める。 ・登場人物の心情や情景の描写をまとめる。 ・作品の極限に迫る表現や、時代を超えた心情を味わう。 ・文学的な作品を読むことで、日本語の言語文化の特質について理解を深める。 ・作品から作家の人間像を想像し、他の作品との比較から文体の特徴や効果について考察する。 ・読み手に興味を持たせる構成や展開の工夫をしながら、共同で作品を書いたり感想を交換したりする。	
3	歴史の語り方について考える 項羽と劉邦—「史記」を読む 花山天皇の退位—「大鏡」を読む 心情の語り方を工夫する 未知へ 夕焼け 売炭翁			・作品が成立した背景を知り、歴史書の楽しみ方を考える。 ・経緯を時系列に沿ってまとめ、作品に投影された作者の解釈を考える。 ・詩を一人称に書き換えて、工夫したことを話し合う。	
評価の観点		内 容			
知識・技能		・言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景や心情の機微を表す言葉を文章などで使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章の種類や特徴について理解している。			
思考・判断・表現		・内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 ・文章を書くために情報を収集、整理して表現したいことが明確である。			
主体的に学習に取り組む態度		・作品に関連する事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したりまとめたりする。			
評価方法	授業中に提示される課題、定期考査、漢字テスト、ファイルや学習プリントなどの提出物、出席状況、授業態度などから、総合的に評価します。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 教科書をよく読み、わからない漢字の読みや語句の意味は自主的に辞書で調べましょう。 ○ 受身の態度ではなく、自分なりの感想や疑問を持ち、積極的に授業に臨みましょう。 ○ プリントはきちんと書き込み、後で見てよくわかるように整理の仕方を工夫しましょう。 ○ 提出物は期限を守って必ず提出しましょう。 ○ 教科書と関連する本や新聞を読むなど、図書館を利用して読書に親しみましょう。					